



## 第60回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

令和5年11月29日



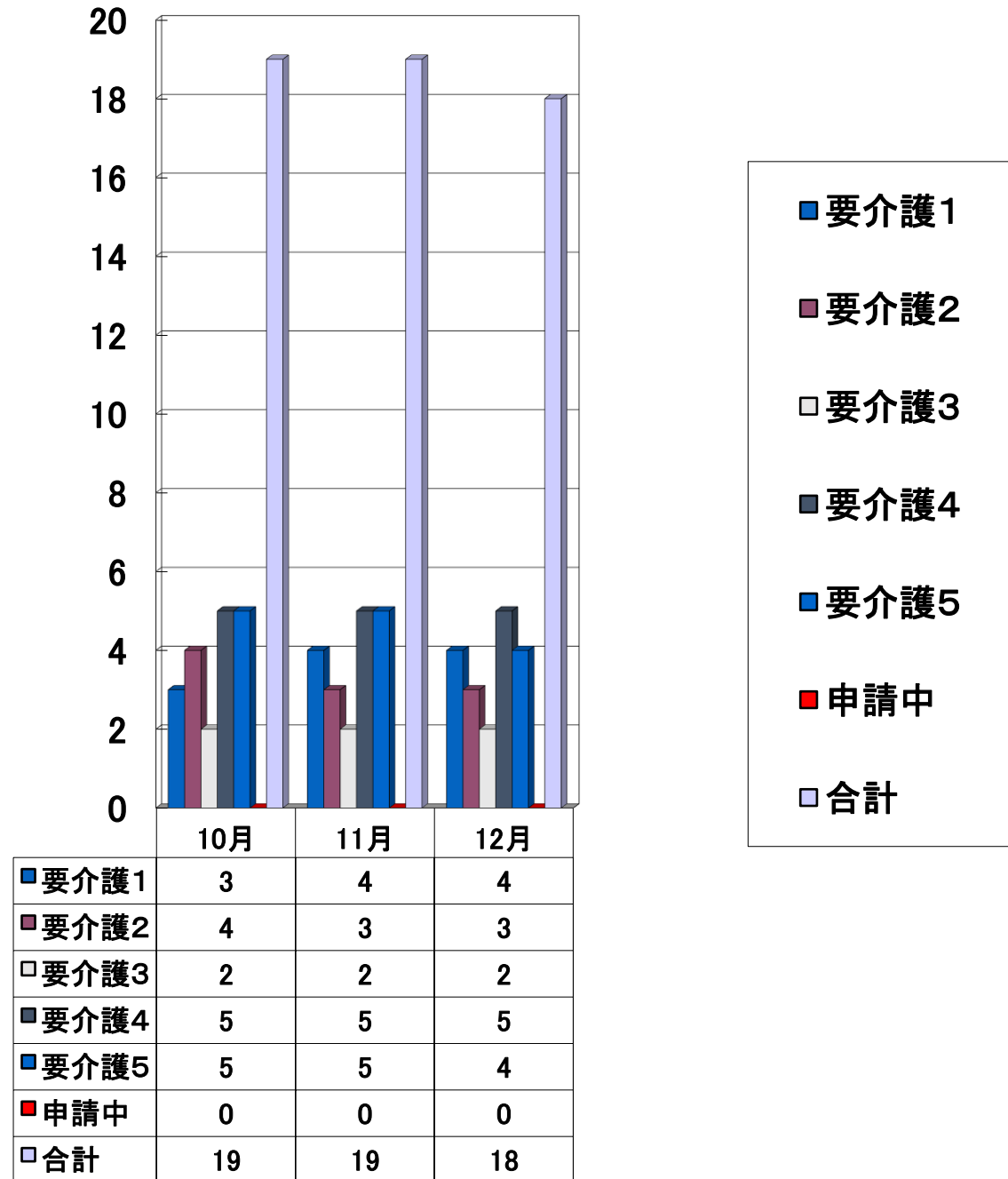
# 第60回運営推進会議

---

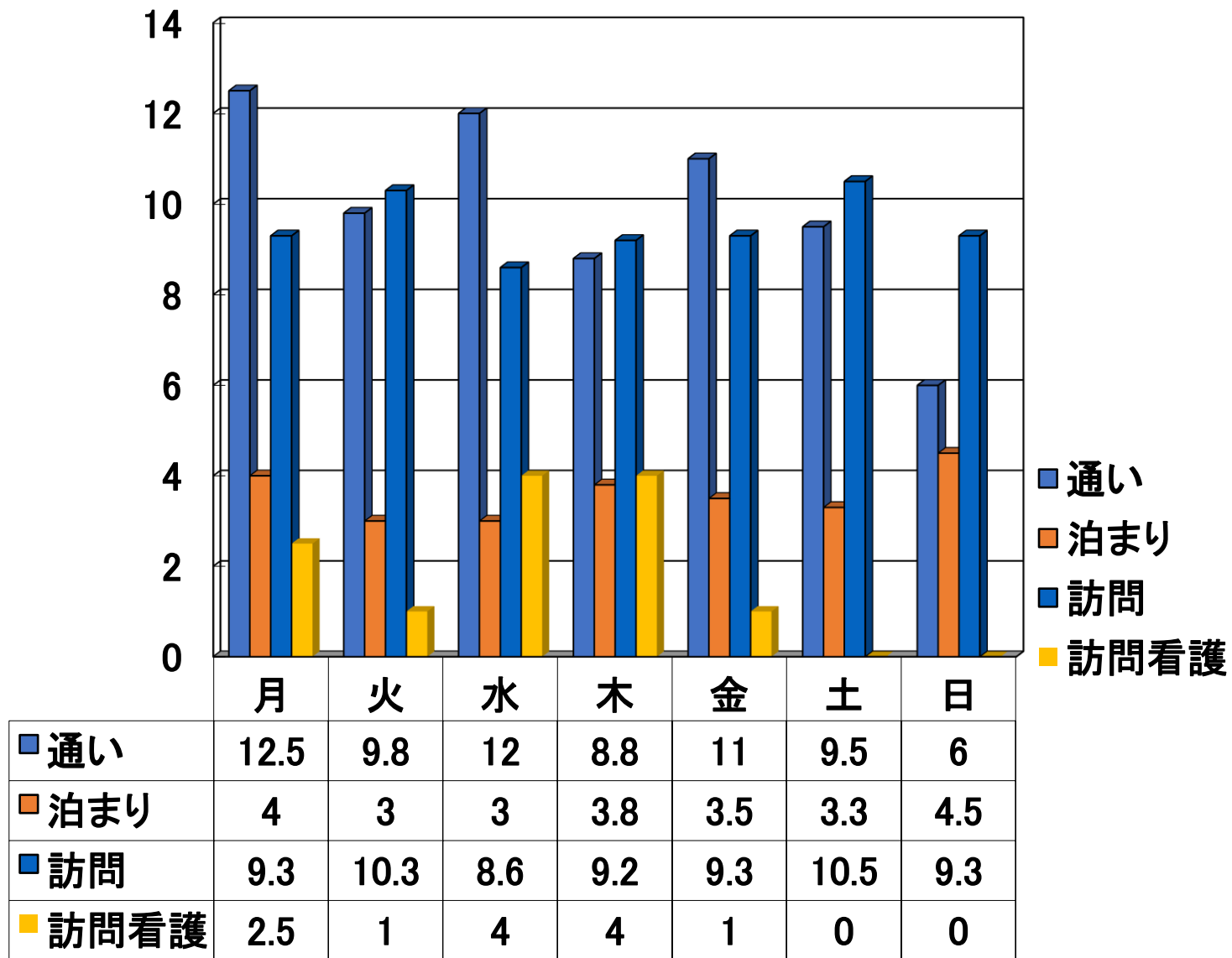
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 看取りの報告
- 活動報告
  - ・サービス評価
  - ・防災訓練
- 意見交換

# 登録利用者数 令和5年10月～令和5年12月

11月  
平均介護度 3.11



# 令和5年11月 曜日別延べ利用者数



# 第60回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所 ケアステーションるぴなす

開催日時：令和5年11月30日(水) 18:00～

出席者：高志2丁目自治会長・目黒様，地域包括支援センター山潟・小石様

ご利用者ご家族・猪浦様，法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

通所介護管理者・遠藤，看護小規模管理者・吉井，計画作成担当者・中村

## 1、ご利用者現況報告

- ・登録利用者数...昨年末のコロナ前は登録数が多かったが、亡くなる方がいて、少し増えてもまた亡くなる方がいたり、急には増えない為少ないまま。
- ・曜日別利用者数...自宅で過ごす為に、訪問が多くなっている。

## 2 新規ご利用者の紹介

・精神科に入院していたが、看取りで残り少ないという事で自宅で看取ろうと退院したが、退院後元気になり2ヶ月経過。今は落ち着いて食事し、穏やかに過ごせる時間多く、通いと泊まりの利用とご家族の協力で帰宅もできている。医療と介護で24時間関わり内服薬の調整をしながら、ご家族の負担も軽減できている。

### 3、看取りの報告

- ・ 自宅で過ごす事を希望され、訪問中心の利用。何が中心の利用かは、人それぞれ。
- ・ がん末期の方へは、斎藤先生より市民病院やがんセンターの医師と連携をとりながらモルヒネ系統の薬を使用している。

### 4、活動報告

#### ○行事，日頃の様子を写真を見て頂きながら報告

- ・ 新潟医療福祉カレッジの学生さんによる希望を叶える企画。聞き取りで『食べる事は好き』という事から、フルーツポンチを作る計画を立て実施して下さった。
- ・ 自宅マンションのザクロを毎年とって満足したところ。
- ・ 今まで剃らずに伸ばしていた髭を、職員との関係性が良くなり剃らせて下さったところ。
- ・ 季節のフルーツを食べに行こうと計画したが行けず、職員が秋のフルーツ買って来た。何のフルーツが好きかなど会話しながら皆で食べた。
- ・ 晴れ間に、紅葉を見に出掛けた。天候の悪い時はドライブし、車から外の紅葉を楽しんだ。
- ・ 10・11月の誕生会、4名とも90代。

#### ○高志二丁目の防災訓練

- ・ 職員二名で参加したが、地域の方49名参加され皆さん一生懸命だと思った。このような訓練を繰り返し、思い出す事が大切だと思った。避難ルートを確認し、るびなすでできる事を考えた。
- ・ 自治会長より：向こう三軒両隣と昔から言われているが今は希薄になっている。訓練は大事で、頭だけでなく動作が実際できるか。要援護者の届け出もあるが、完璧ではないので、お互い様で隣近所の付き合いが大事になってくる。

## 5、利用の感想，地域の情報

- ・地域包括支援センターへは認知症とがん末期の相談が多い。明日のケア会議は認知症がテーマ。早期受診・診断が大切とわかっているが、家のこととなると家族も本人も進まない事が多い。
- ・がん終末期、病院では手が回らず在宅となると在宅医が診るが、訪問診療をする医師が少ない。
- ・8月に大ケガし、予防しながら利用しているが、3泊4日まで何とか泊まれるようになった。心臓が苦しいと言う事が減り、今の生活に慣れて不安解消してきたと思われる。夜間1時間ごとにトイレへ行き家族が付き添う為、家族は不眠。夜間の転倒予防に、ポータブルトイレの使用を自宅でもるびなすでも勧めているが使って頂けない。
- ・大雨の日に薬局の前の電柱に雷が落ち、地域とるびなすも停電になった。電気の大切さを思い知った。薄暗い中過ごし、空襲を思い出した方もいた。

# サービス評価

看護小規模多機能型居宅介護事業所は、運営推進会議をおおむね2月に1回以上開催することと規定されているがサービスの改善および質の向上を目的として、自ら提供するサービスについて評価・点検（自己評価）を行うとともに、自己評価結果について、運営推進会議等において第三者の観点からサービスの評価（外部評価）を1年に1回以上行う。

サービスの質の評価の客観性を高め、サービスに質の改善を図ることを目的とし、結果の公表を行うことが義務付けられており、利用者に対するサービスの提供にあたり、職員に対し、十分意識付けを図ることが求められている。



# サービス評価

スタッフ個別評価



事業所自己評価



外部評価



評価の公表

- これまでの取り組みやかかわりを自らに向き合い、振り返ります。個人作業

- 各自が取り組んだ「スタッフ個別評価」を持ち寄り、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、項目に関する捉え方の違いなどを話し合い、その中から改善の方策を考えます。事業所のコミュニケーションの場ともなります。

- 運営推進会議で話し合います。  
「できている」「できていない」という結果のみで判断するだけでなく、事業所が真摯に自らの取り組みを振り返り、質の向上を図っているか確認します。  
地域が日頃感じていることと事業者自身が考えることとの違いについて話しあい、事業所の課題や今後の方向を見出します。

どうぞ今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同

